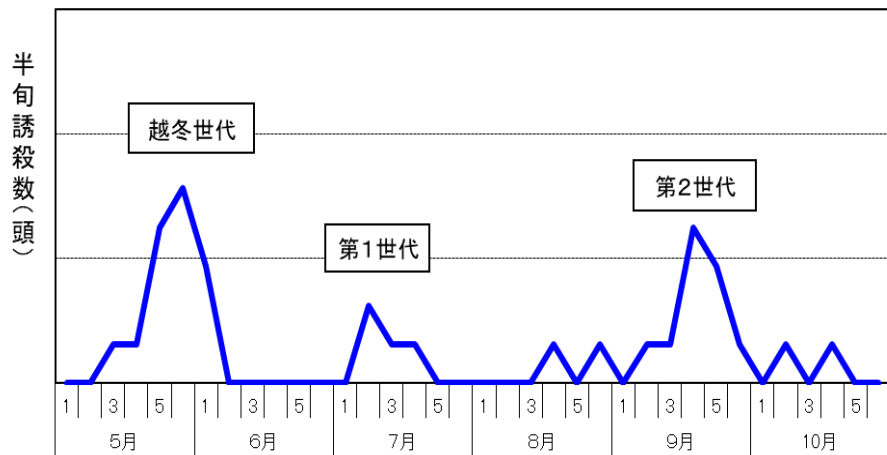


リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長（令和6年（2024年）調査）

長野県病害虫防除所

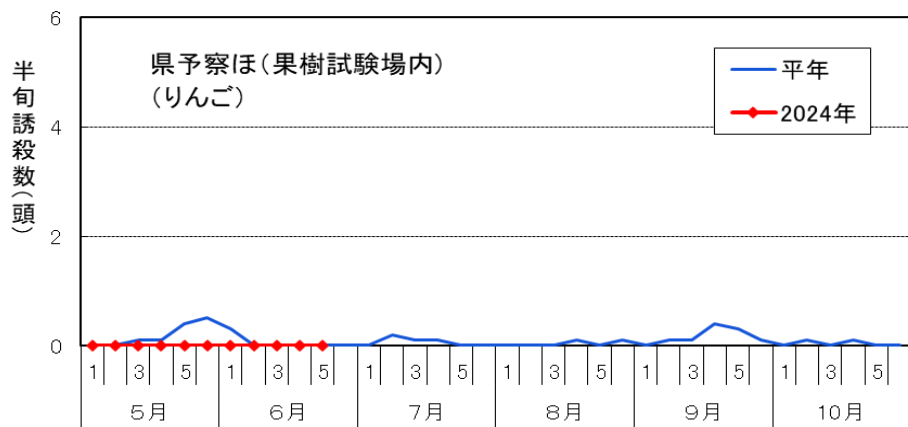
過去10年間の消長模式図（長野県果樹試験場内 試験場予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・平坦部では年3回発生する。
- ・越冬世代成虫は5月下旬～6月上旬に発生する。
- ・第1世代幼虫は6月中旬から発生し、新梢の先端の葉を綴って食害する。成虫は7月中～下旬に発生する。
- ・第2世代幼虫は7月下旬～8月中旬に発生し、果実への加害が始まる。成虫は8月下旬～9月下旬に発生する。
- ・第3世代幼虫は9月上旬頃から発生し、密着した葉と果実の間に入り、果実に鉛筆の先端で突いたような食害を残す。2～3齢になると越冬に入る。
- ・適期防除が重要であるので、フェロモントラップを用いて、それぞれの地域の発消長を把握することが重要である。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



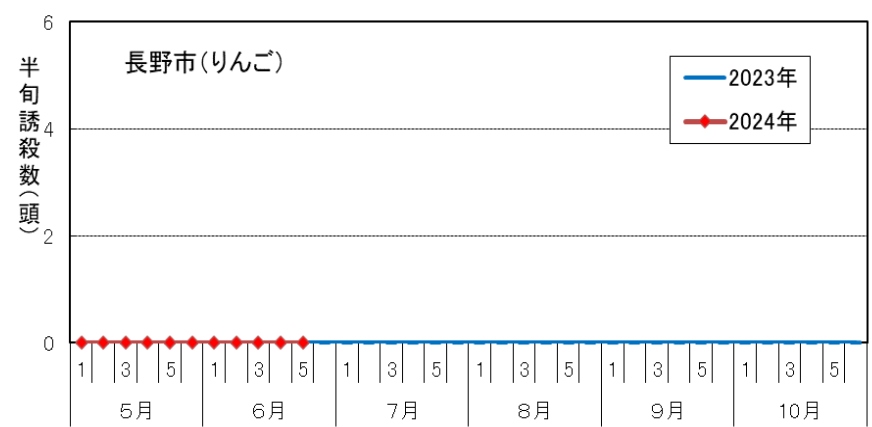
【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市 果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は2014年～2023年の平均値

【コメント】

- ・6月第5半旬まで誘殺されなかった。

○須坂市（病害虫防除所調査）



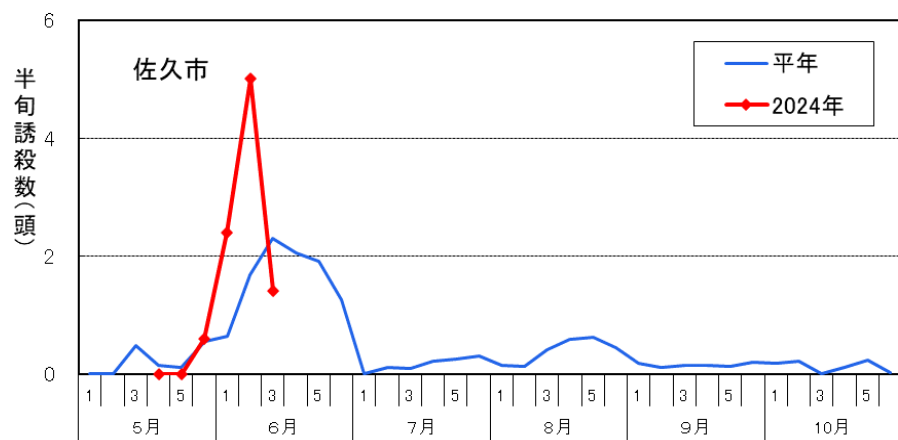
【調査地点】（標高約 370m）

- ・長野市（りんごほ場）
- ・2023年からほ場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・6月第5半旬まで誘殺されなかった。

○佐久市（佐久農業農村支援センター調査協力）



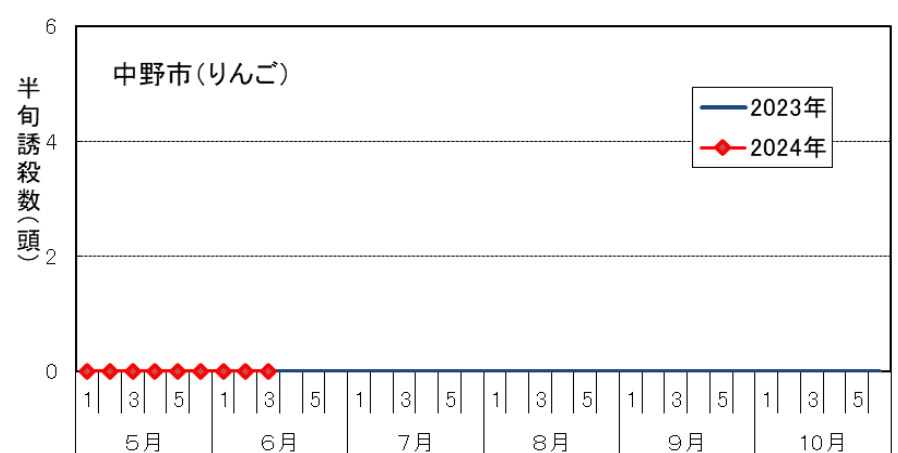
【調査地点】（標高約 740m）

- ・佐久市 ももほ場
- ・平年は2014年～2023年の平均値。

【コメント】

- ・誘殺頭数は、6月第1半旬～第2半旬は平年と比べやや多かった。

○中野市（病害虫防除所調査）



【調査地点】（標高約 450m）

- ・中野市 りんごほ場
- ・2023年からほ場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・6月第3半旬まで誘殺されなかった。